

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (1/7)

認定番号: 0180-1408, サービス名称: K-engineサービス, 事業者名称: 株式会社K-engine

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
1	開示情報の時点	開示情報の日付	開示情報の年月日(西暦)	必須 2017/10/18
- 事業所・事業				
2	事業所等の概要	事業者名	事業者の正式名称(商号)	必須 株式会社K-engine
3		設立年・事業年数	事業者の設立年(西暦)	必須 2011年
			設立後の事業年数(1年に満たない場合は月数)	必須 6年
4		事業所	事業者の本店住所・郵便番号	必須 〒160-0022 東京都新宿区新宿一丁目4番12号
	事業所数(国内、国外)		必須 国内(1ヶ所)	
	主な事業所の所在地		必須 東京都新宿区新宿一丁目4番12号	
5	事業の概要	主な事業の概要	事業者の主要な事業の概要 (ASP・SaaS以外も含む) <100字以内で記述>	必須 ・コンピューターソフトウェア、情報システムの企画、制作および販売 ・インターネットを利用した各種情報提供サービス ・住宅の設計、建築および販売に係る技術、ノウハウおよび経営システムの開発 等
- 人材				
6	経営者	代表者	代表者氏名	必須 原口誠司
			代表者写真	選択 記述無し(*)
			代表者年齢	選択 記述有り(*)
			代表者経歴(学歴、業務履歴、資格等)	選択 記述有り(*)
7	役員	役員数	選択 記述有り(*)	
		役員氏名及び役職名	選択 記述有り(*)	
8	従業員	従業員数	正社員数(単独ベース)	選択 記述有り(*)
- 財務状況				
9	財務データ	売上高	事業者全体の売上高(単独ベース)(単位:円)	必須 1,002,172,887円(2017年3月期)
10		経常利益	事業者全体の経常利益額(単独ベース)(単位:円)	選択 記述有り(*)
11		資本金	事業者全体の資本金(単独ベース)(単位:円)	必須 2,779,895,442円(2017年3月期)
12		自己資本比率	事業者全体の自己資本の比率(単独ベース)(単位:%)	選択 記述無し(*)
13		キャッシュフロー対有利子負債比率	事業者全体のキャッシュフロー対有利子負債比率(単独ベース)(単位:%)	選択 記述無し(*)
14		インタレスト・カバレッジ・レシオ	事業者全体のインタレスト・カバレッジ・レシオ(単独ベース)(単位:%)	選択 記述無し(*)
15	財務信頼性	上場の有無	株式上場の有無と、上場の場合は市場名	選択 記述有り(*)
16		財務監査・財務データの状況	該当する財務監査・財務データの状況を、以下より選択する。 ①会計監査人による会計監査、②会計参与による監査、③中小企業会計によるチェックリストに基づく財務データ、④いずれでもない	選択 記述有り(*)

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (2/7)

認定番号: 0180-1408, サービス名称: K-engineサービス, 事業者名称: 株式会社K-engine

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容	
17	決算公告	決算公告の実施の有無	選択	記述有り(*)	
- 資本関係・取引関係					
18	資本関係 株主構成	大株主の名称(上位5株主程度)、及び各々の株式保有比率	選択	記述有り(*)	
19	取引関係	大口取引先	大口取引先の名称	選択	記述無し(*)
20		主要取引金融機関	主要取引金融機関の名称	選択	記述有り(*)
21		所属団体	所属している業界団体、経済団体等の名称	選択	記述有り(*)
- コンプライアンス					
22	組織体制	コンプライアンス担当役員	コンプライアンス担当の役員氏名	選択	記述有り(*)
23		専担の部署・会議体	コンプライアンスを担当する社内の部署・会議体の有無と、存在する場合は社内の部署名・会議名	選択	記述有り(*)
24	文書類	情報セキュリティに関する規程等の整備	情報セキュリティに関する基本方針・規程・マニュアル等文書類の名称	必須○	情報セキュリティ管理規程
			上記の文書類の経営陣による承認の有無		有
25		勧誘・販売に関する規程等の整備	勧誘・販売に関する基本方針・規程・マニュアル等の有無と、文書類がある場合はそれらの文書名	選択	記述有り(*)
	上記の文書類の経営陣による承認の有無		記述有り(*)		
26	ASP・SaaSの苦情対応に関する規程等の整備	ASP・SaaSの苦情処理に関する基本方針・規程・マニュアル等の有無と、文書類がある場合はそれらの文書名	必須	無	
		上記の文書類の経営陣による承認の有無		無	
- サービス基本特性					
27	サービス内容	サービス名称	申請したASP・SaaSのサービス名称	必須	K-engineサービス
28		サービス開始時期	申請したASP・SaaSのサービス開始年月日(西暦)	必須	2014/7/1
			サービス開始から申請時までの間の大きなリニューアル等実施の有無と、行われた場合はリニューアル年月日(西暦)		有 2015/1/28 2017/2/20
29	サービスの基本タイプ	アプリケーションサービス、ネットワーク基盤サービス、ASP基盤サービス、その他サービスの4つ中から該当タイプを選択	必須	アプリケーションサービス	
30	サービスの内容・範囲	申請したASP・SaaSのサービスの内容・特徴 <500字以内で記述>	必須	K-engineサービスは、住宅建築会社さま向けのクラウドサービスとなります。 商談図面からそのまま積算、そして自動見積。お施主様の前でリアルタイム提案も簡単に。それを可能にする500万点を超える膨大なクラウドデータベース。今までの常識を変えるサービスを提供します。リフォーム向け、新築向けにそれぞれサービスをご用意しております。 リフォームサービスである『リフォームアクセルADVANCE』は、消費者のリフォームについて価格と完成イメージの不安を同時に解決できる唯一のモバイルITソリューションです。リフォーム会社さまのお困りごとを一発で解決し、「強み」になるITモバイル技術です。 新築向けサービスは今までの業務負担を大幅に軽減できます。新たな機器の導入は必要ありません。今お使いのパソコンで、すぐにサービスを始められます。メンテナンスフリーの約500万点の圧倒的な建築資材データベースだから可能なK-engine独自のサービスです。	

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (3/7)

認定番号: 0180-1408, サービス名称: K-engineサービス, 事業者名称: 株式会社K-engine

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
		他の事業者との間でサービス連携を行っていることの有無と、ある場合はその内容 ＜前記述と合わせて500字以内で記述＞		無
31		サービスのカスタマイズ範囲 アプリケーションのカスタマイズの範囲(契約内容に依存する場合はその旨記述) ＜200字以内で記述＞	必須	リフォーム、新築サービス共に、原価設定、掛率設定が可能。リフォームサービスでは、自社プランの登録が可能。新築では自社仕様の設定が可能。
32	サービスの 変更・ 終了	サービス(事業)変更・終了時の事前告知 利用者への告知時期(事前の告知時期を1ヶ月前、3ヶ月前、6ヶ月前、12ヶ月前等の単位で記述) 告知方法	必須○	1ヶ月前 電子メール又はWEBサイトへの掲示
33		サービス(事業)変更・終了後の対応・代替措置 対応・代替措置の基本方針の有無と、基本方針がある場合はその概略 基本方針に沿った具体的なユーザへの対応策(代替サービスの紹介等)の有無と、対応策がある場合はその概略 契約終了時の情報資産(ユーザデータ等)の返却責任の有無	必須	無 無 無
34		サービス(事業)変更・終了に係る問合せ先 問合せ先(通常の苦情等の問合せ窓口も含む)の有無と、問合せ先がある場合は名称・受付時間	必須○	有 名称:カスタマーセンター 受付時間:平日9:00~17:00(夏期、年末年始休暇を除く)
35		課金方法 従量部分の課金方法 固定部分の課金方法	必須	【K-engine らくらく登録代行サービス】利用ごとに課金 【K-engine 技術サポート】利用ごとに課金 【K-engine 個別相談サービス(訪問タイプ)】利用ごとに課金 リフォームアクセルADVANCE 1IDに対して年額課金 ベーシックサービス 利用コースに対して年額課金
36	サービスの 料金	料金体系 初期費用額 月額利用額 最低利用契約期間	必須	契約事務手数料3,000円 リフォームサービス ・リフォームアクセルADVANCE 84,000円/年・ID 月当たり7,000円 新築サービス ・バリューコース 120,000円/年 月当たり10,000円 ・スーパーバリューコース 360,000円/年 月当たり30,000円 ・使い放題コース 600,000円/年 月当たり50,000円 12ヶ月
37		解約時ペナルティ 解約時違約金(ユーザ側)の有無と、違約金がある場合はその額	必須	有 解約を希望する契約者は、次回の請求時に、解約の時点で未払いのサービス利用料を含めすべての債務を一括して清算するものとします。
38		利用者からの解約事前受付期限 利用者からのサービス解約の受付期限の有無と、有りの場合はその期限(何日・何ヶ月前かを記述)	必須	受付期限:有 期限:契約期間満了日の15日前
39	サービスの稼働設定値	サービス稼働率のこれまでの実績値、またはやむなき理由により実績値が記載できない場合はその理由と目標値 申請したサービスが該当する「情報セキュリティ対策ガイドライン」におけるサービス種別のパターン番号と稼働率の対策参照値 サービス停止の事故歴	必須	稼働率:100% 期間:2016年10月1日~2017年9月30日 パターン2:99%以上 無

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (4/7)

認定番号: 0180-1408, サービス名称: K-engineサービス, 事業者名称: 株式会社K-engine

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
40	サービスパフォーマンスの管理	機器、ソフトウェア等のシステム障害によるサービス応答速度の低下等の検知方法 (検知の場所、検知のインターバル、画面の表示チェック等の検知方法)	選択	記述有り(*)
		サービス応答速度等のサービスパフォーマンスの正常性の把握方法 (検知の場所、検知のインターバル、画面の表示チェック等の把握方法)		記述有り(*)
41	サービスパフォーマンスの増強	ネットワーク・機器等の増強判断基準あるいは計画の有無、判断基準や計画がある場合は増強の技術的措置(負荷分散対策、ネットワークルーティング、圧縮等)の概要	選択	記述有り(*)
42	認証取得・監査実施	プライバシーマーク、ISMS(JIS Q 27001など)、ITSMS(JIS Q 27001など)の取得、18号監査(米ではSAS70)の監査報告書作成の有無、上記がある場合は認証名あるいは監査の名称	選択	記述有り(*)
43	個人情報の取扱い	個人情報を収集する際の利用目的の明示	必須	プライバシーポリシーに記載
44	脆弱性診断	診断の対象(アプリケーション、OS、ハードウェア等)	選択	記述有り(*)
		診断の頻度、診断の結果から対策が必要となった部分に対する対応状況(対象ごとに)		記述有り(*)
45	バックアップ対策	バックアップ実施インターバル	必須	システムバックアップ: 随時(変更都度) アプリケーションバックアップ: 随時(変更都度) DBバックアップ: 日次、月次
		世代バックアップ(何世代前までかを記述)	必須	システムバックアップ: 1世代 アプリケーションバックアップ: 全世代 DBバックアップ: 日次-1世代、月次-4世代
46	バックアップ管理	バックアップ確認のインターバル	選択	記述有り(*)
47	受賞・表彰歴	ASP・SaaSに関連する各種アワード等の受賞歴	選択	記述有り(*)
48	SLA(サービスレベル・アグリーメント)	本審査基準に含まれる開示項目がSLAとして契約書に添付されるか否か	必須	無
49	サービス利用量	申請したASP・SaaSのサービスの利用者ライセンス数 (同時接続ユーザ数か、実ユーザ数かも明示)	選択	記述有り(*)
50		代理店数	申請したASP・SaaSのサービスの取扱い代理店数	選択

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (5/7)

認定番号: 0180-1408, サービス名称: K-engineサービス, 事業者名称: 株式会社K-engine

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
- アプリケーション、プラットフォーム、サーバ・ストレージ等				
51	内容	サービスを実現する主要ソフトウェア	必須	K-engineシステム
		主要ソフトウェアの概要 <200字以内で記述>	必須	商談図面からそのまま積算、そして自動見積。お施主様の前でリアルタイム提案も簡単に。それを可能にする500万円を超える膨大なクラウドデータベース。今までの常識を変えるサービスを提供します。新築向け、リフォーム関連向けにそれぞれサービスをご用意しております。
52	主要ソフトウェアの提供事業者	提供事業者の名称	必須	株式会社K-engine
53	連携・拡張性	他システム等との連携方法	選択	記述有り(*)
		標準的でないAPI等を他システム等連携のために使用している場合、そのAPI等の公表の可否	選択	記述有り(*)
54	セキュリティ	死活監視(ソフトウェア、機器)	必須○	アプリケーション: URL監視を3分間隔 サーバ・ストレージなどのインフラ関係: 5分間隔 通信機器: 5分間隔
		障害時の利用者への通知時間	必須○	2時間以内
55	セキュリティ	障害監視(ソフトウェア、機器)	必須	アプリケーション: URL監視を3分間隔
56	セキュリティ	時刻同期	必須	NTPサーバにて対象機器はすべて同期
57	セキュリティ	ウイルスチェック	必須○	・HTTP/FTP/SMTP通信をセキュリティソフトを用いてリアルタイムチェック ・サーバ上のファイルは、ウイルス対策ソフトを用いてチェック ・またWAFにより、脆弱性攻撃はブロック すべてのパターンファイルは日々更新
58	セキュリティ	記録(ログ等)	必須○	システム・アプリケーション・セキュリティのログはすべて取得 ログは90日保管
59	セキュリティ	セキュリティパッチ管理	必須○	Windowsサーバに関して原則半年ごとに更新。Linuxサーバに関して外部から攻撃可能な脆弱性が発見され次第更新
- ネットワーク				
60	回線	推奨回線	必須	インターネット回線
		ユーザ接続回線について、ASP・SaaS事業者が負う責任範囲	必須	ユーザ接続回線は責任範囲外
61	回線	推奨帯域	必須	無
62	推奨端末	パソコン、携帯電話等の端末の種類、OS等	必須	パソコン: Windows7 スマートフォン: iOS8
		利用するブラウザの種類	必須	IE11以上
63	ファイアウォール設置等	ファイアウォール設置等の不正アクセスを防止する措置の有無	必須○	ファイアウォール設置
64	不正侵入検知	不正パケット、非権限者による不正なサーバ侵入に対する検知の有無	必須	・FWで最低限のポートのみ開放 ・WAF(WEBアプリケーションファイアウォール)を利用し、脆弱性攻撃をブロック
65	ネットワーク監視	事業者とエンドユーザとの間のネットワーク(専用線等)において障害が発生した際の通報時間	選択	記述有り(*)

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (6/7)

認定番号: 0180-1408, サービス名称: K-engineサービス, 事業者名称: 株式会社K-engine

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
66	セキュリティ	ID・パスワードの運用管理	IDやパスワードの運用管理方法の規程の有無	必須○ 有
67		ユーザ認証	ユーザ(利用者)のアクセスを管理するための認証方法、特定の場所及び装置からの接続を認証する方法等	必須○ SSOサーバにて、ログインID・パスワードで認証を実施する。
68		管理者認証	サーバ運用側(サービス提供側)の管理者権限の登録・登録削除の正式な手順の有無	必須○ 管理者リストと共に登録手順・登録実施者の規定・手順有り
69		なりすまし対策(事業者サイド)	第三者による自社を装ったなりすましに関する対策の実施の有無と、対策がある場合は認証の方法	必須 ジオトラストによる、トゥルービジネスIDを利用(第三者認証SSL)
70		その他セキュリティ対策	その他特筆すべきセキュリティ対策を記述(情報漏洩対策、データの暗号化等)	選択 記述有り(*)
- ハウジング(サーバ設置場所)				
71	施設建築物	建物形態	データセンター専用建物か否か	必須 DC専用
72		所在地	国名、(日本の場合は地域ブロック名(例:関東、東北))	必須 日本(関東)
73		耐震・免震構造	耐震数値	必須 震度7程度に耐えうる強度
	免震構造や制震構造の有無		無	
74	非常用電源設備	無停電電源	無停電電源装置(UPS)の有無と、UPSがある場合は電力供給時間	必須 有10分
75		給電ルート	別の変電所を経由した給電ルート(系統)で2ルート以上が確保されているか否か(自家発電機、UPSを除く)	必須 否
76		非常用電源	非常用電源(自家発電機)の有無と、非常用電源がある場合は連続稼働時間の数値	必須 有72時間
77	消火設備	サーバールーム内消火設備	自動消火設備の有無と、ある場合はガス系消火設備か否か	必須 有ハロンガス消火
78		火災感知・報知システム	火災検知システムの有無	必須 有
79	避雷対策設備	直撃雷対策	直撃雷対策の有無	必須 有
80		誘導雷対策	誘導雷対策の有無と、対策がある場合は最大対応電圧の数値	必須 無
81	空調設備	十分な空調設備	空調設備(床吹き上げ空調、コンピュータ専用個別空調等)の内容	選択 記述有り(*)

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (7/7)

認定番号: 0180-1408, サービス名称: K-engineサービス, 事業者名称: 株式会社K-engine

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
82	セキュリティ	入退室記録の有無と、 入退室記録がある場合はその保存期間	必須	有 1年
		監視カメラの有無と、 カメラがある場合は監視カメラ稼働時間、監視カメラの監視範囲、映像の保存期間		有 24時間365日 建物内全域 6ヶ月
		個人認証システムの有無		有
83	媒体の保管	紙、磁気テープ、光メディア等の媒体の保管のための鍵付きキャビネットの有無	必須	無
		保管管理手順書の有無		無
84	その他セキュリティ対策	その他特筆すべきセキュリティ対策を記述 (破壊侵入防止対策、防犯監視対策等)	選択	記述有り(*)
- サービスサポート				
85	連絡先	申請者の電話/FAX、Web、電子メール等の連絡先	必須○	電話: 0570-078910 Web: お問合せフォーム 電子メール: support@k-engine.jp
		代理店連絡先の有無と、ある場合は代理店名称、代理店の本店の所在地と連絡先		無
86	営業日・時間	営業曜日、営業時間(受付時間)	必須	受付時間: 平日9:00~17:00(夏期、年末年始休暇を除く)
		メンテナンス実施時間		営業時間外に実施
87	サポート対応	サービスサポートの稼働率の実績値(単位: %)	選択	記述有り(*)
		放棄率の実績値(単位: %)		記述有り(*)
		応答時間遵守率の実績値(単位: %)		記述有り(*)
		基準時間完了率の実績値(単位: %)		記述有り(*)
88	サポート範囲・手段	サポート範囲	必須	申込前の各種ご相談、申込後の操作方法等の各種問合せ 障害等トラブル対応
		サポート手段(電話、電子メールの返信等)		電話、電子メールへの返信
89	サービス保証・継続	サービスダウンしない仕組み(冗長化、負荷分散等)	必須	WEBサーバ、APサーバ、プロキシサーバ: 負荷分散 DBサーバ、NASサーバ: HAクラスタリング
90	事故発生時の責任と補償範囲	ASP・SaaS事業者の事故責任の範囲と補償範囲が記述された文書の有無、有る場合はその文書名称	必須	有 名称: K-engineサービス契約約款
91	サービス通知・報告	利用者への告知時期 (1か月前、3か月前、6か月前、12か月前等の単位で記述)	必須○	1週間前
		告知方法		電子メール又はWEBサイトへの掲示
		記述よりも短い告知時期での緊急メンテナンスの有無		有
92	障害・災害発生時の通知	障害発生時通知の有無	必須○	有
93	定期報告	利用者への定期報告の有無 (アプリケーション、サーバ、プラットフォーム、その他機器の監視結果、サービス稼働率、SLAの実施結果等)	必須	無

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。